

# 海洋調査技術学会

## 第23回研究成果発表会

### プログラム

- 期 間 2011年11月1日（火）～ 11月2日（水）
- 場 所 海上保安庁海洋情報部 7階大会議室  
〒104-0045 東京都中央区築地 5-3-1
- 参加費 無料  
講演要旨集 1,000円（会員） 1,500円（非会員）
  
- 主 催 海洋調査技術学会
- 共 催 海上保安庁海洋情報部
- 協 賛 海中海底工学フォーラム、（特定非営利活動法人）海洋音響学会、  
海洋理工学会、（社）可視化情報学会、（社）資源・素材学会、石油技術協会、地球電磁気・地球惑星圏学会、（社）土木学会、日本海洋工学会、（特定非営利活動法人）日本火山学会、（社）日本建築学会、（社）日本写真測量学会、（社）日本水産学会、日本船舶海洋工学会、（社）日本リモートセンシング学会（50音順）

第1日 11月1日(火) 会場 海洋情報部7階大会議室

開会挨拶 会長 徳山 英一

10:00 ~ 10:05

★座長 久保田 隆二

10:05 ~ 11:45

1 HUGIN 自立型水中航走体と最新鋭の EM2040 高周波マルチビーム音響測深装置の特長

○中野 健一 (日本海洋株)

2 5000m より深い水深におけるマルチナロービーム音響測深機による測深結果の信頼性評価

○中西 正男 (千葉大大学院理学研究科)

3 走行型 Ro v の低視程時運用をサポートする音響ビデオカメラの利用

○望月 将志・浅田 昭(東大生産研)、井上 朝哉(JAMSTEC)、津久井 慎吾(トピー工業株)

4 海底鉱床探査のための重力偏差計の開発

○新谷 昌人・金沢 敏彦・篠原 雅尚・山田 知朗(東大地震研)・藤本 博己(東北大理)・飯笹 幸吉(東大新領域)・石原 丈実(産総研)

5 海底観測用小型傾斜計の開発

○高森 昭光・金沢 敏彦・篠原 雅尚・新谷 昌人(東大地震研)・Alessandro Bertolini(ピサ大学)・Riccardo DeSalvo(カリフォルニア工科大学)

★海洋調査・測定機器展示案内

11:45 ~ 12:15

(昼 食)

★ポスターセッションのコアタイム

12:15 ~ 13:15

★通常総会

13:00 ~ 13:45

★座長 佐藤 まりこ

13:50 ~ 15:50

6 海底地殻変動観測の高度化—2011年東北沖地震を受けて—

○藤本 博己・木戸 元之・日野 亮太(東北大)・田所 敬一(名大)・佐藤 まりこ・石川 直史(海洋情報部)・浅田 昭・望月 将志(東大生産研)

7 日本海溝海側斜面の地殻変動速度

○岩渕 洋 (海洋情報部)

8 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 (航路啓開から緊急測量まで)

○三枝 隼・田賀 傑 (海洋情報部)

9 被災地における航空レーザー測量

○小野 智三 (海洋情報部)・柴田 遥 (第七管区本部海洋情報部)

10 茨城・房総半島沖におけるエアガン・ダイナマイトを震源とした地殻構造探査

○中東 和夫・山田 知朗・望月 公廣・篠原 雅尚・金沢 敏彦 (東大地震研)・村井 芳夫  
・高波 鐵夫 (北海道大学)・伊藤 喜宏・日野 亮太 (東北大学)・佐藤 利典 (千葉大学)・植  
平 賢司 (九州大学)

11 海底地震計観測網による 2011 年東北地方太平洋沖地震の余震活動

○篠原雅尚・山田知朗・町田祐弥・中東和夫・望月公廣・塩原肇・一瀬建日・真保敬・岩  
崎貴哉・小原一成・平田直 (地震研究所)・村井芳夫・勝俣啓・東龍介 (北大)・日野亮  
太・伊藤喜宏・鈴木健介・藤本博己・木戸元之・長田幸仁 (東北大学)・佐藤利典 (千葉  
大学)・植平賢司 (九大)・八木原寛・宮町宏樹 (鹿児島大)・小平秀一・高橋成実・尾  
鼻浩一郎・金田義行 (海洋機構)・平田賢治・対馬弘晃・勝間田明男・横田崇 (気象研)  
・山崎明・小池哲司・阿部正雄・平松秀行 (気象庁)

休 憩

10 分

★特別講演

16 : 00 ~ 18 : 00

司会 徳山 英一

「海洋再生可能エネルギーを利用した地域活性化の展望」

～持続可能な地域活性化と海洋空間の利用推進を目指して～

○木下 健 (東京大学生産技術研究所)

「東北地方太平洋沖地震・津波の法則」

○都司 嘉宣 (東京大学地震研究所)

懇 親 会 (レストラン・アラスカ)

18 : 20 ~ 19 : 45

第2日 11月2日(水) 会場 海洋情報部7階大会議室

★特別セッション【海洋汚染編】

10:00 ~ 11:00

福島第一原子力発電所からの放射性物質の海洋分散シミュレーション

○升本 順夫・宮澤 泰正・セルゲイ パーラモフ・章 若潮・土居 知将 (海洋研究開発機構)

福島県沖放射線海域モニタリングに参加して

○熊本 雄一郎 (海洋研究開発機構)

★特別セッション【地震編】

11:00 ~ 12:30

海底ケーブル障害から見える海底地盤変動

○白崎 勇一 (マリン・エコ・テック)・伊藤 啓司・桑水流 正邦・清水 健二 (KDDI)

ナウファスの開発・改良をふまえた2011年東日本大震災の津波観測

○永井 紀彦 (港湾空港技術研究所)

2011年東北地方太平洋沖地震に伴う海底の地殻変動

○石川 直史 (海上保安庁海洋情報部)

(昼 食)

★座長 寄高 博行

13:30 ~ 14:30

12 IH0 標準分潮リストの見直しと調和分解方法の再検討

○小田巻 実(三重大学)

13 東シナ海における残留性有機汚染物資の輸送モデリング

○小野 純・郭新宇・高橋 真(愛媛大・CMES)・清水 潤子(海洋情報部)

14 現場採水濃縮システムを用いた沖合海水中の残留性有機汚染物質の測定

○清水 潤子・渡邊 奈保子(海洋情報部)・高橋 真・磯部 友彦・田辺 信介(愛媛大CMES)・大塚 俊晶(イーアイエス・ジャパン)・内田 圭祐(いであ株)

休 憩

15 分

★座長 海宝 由佳

14 : 45 ~ 16 : 25

15 広帯域海底地震観測での帯域拡大に向けた取り組み

○塩原 肇・篠原 雅尚、一瀬 建日（東大地震研）

16 海底熱水鉱床探査に向けた磁気探査装置の実海域試験

ーベヨネース海丘の磁化構造解析ー

○佐柳 敬造・伊勢崎 修弘・原田 誠（東海大）・松尾 淳（OYO インターナショナル）  
・笠谷 貴史（JAMSTEC）

17 伊豆ー小笠原弧，海形海山の地質学のおよび地球物理学の特徴

○伊藤 弘志・加藤 正治・高橋 昌紀・小野寺 健英・斉藤 昭則（海洋情報部）

18 房総半島沖海溝会合部東側における海底地震観測

○山田 知朗・望月 公廣・篠原 雅尚・町田 祐弥・真保敬・中東 和夫（東大地震研）  
・植平 賢司（九大理）・佐藤 利典（千葉大理）・日野 亮太（東北大理）・村井 芳夫（北大理）

19 トレミー管式ロックダンピング ROV によるロックマウンド形状制御技術

○小島 淳一（KDDI 研究所）・白石 俊樹・高橋 彰司・立花 好高（関海事工業所）  
・白崎 勇一（マリン・エコ・テック）

閉会挨拶 副会長 道田 豊

16 : 25 ~ 16 : 30

● ポスターセッション 海上保安庁海洋情報部 7階ロビー

11月 1日(火) 10:00~18:00、11月 2日(水) 10:00~16:30

(コアタイム 11月 1日(火) 12:15~13:15)

1 74口径ロングタイプパイロットコアラーの開発

○竹友 祥平・畠山 映・松浦 由孝・吉田 和弘(マリンワークジャパン)

2 音響を利用した海底探査装置による浅い海での生活系海底ごみ試験片の試験撮影

○長尾 正之・鈴木 淳(産業技術総合研究所) 菅 浩伸・大橋 倫也(岡山大学)

3 南海トラフにおける海底地殻変動観測結果

○氏原 直人・石川 直史・渡邊 俊一・吉田 茂・佐藤 まりこ(海洋情報部)・望月 将志・浅田 昭(東大生産研)

4 小笠原海台南東部の地殻構造

○金田 謙太郎・西澤 あずさ・森下 泰成(海洋情報部)・及川 光弘(国交省)

5 2軸電磁ログ船速データの特性

○工藤 宏之・並木 正治(海洋情報部)

6 海底ケーブル保護工事用トレミー管式ロックダンピングシステム

○白崎勇一(有)マリン・エコ・テック)、関勝・白石俊樹(株)関海事工業所)、愛智直行(愛一工業株式会社) 小島淳一(KDDI研究所)、渡辺康司(株)アーク・ジオ・サポート)

7 反射法地震探査を用いた伊豆小笠原海嶺周辺における海洋微細構造イメージング

○山下 幹也・深尾 良夫・勝又 勝郎・海宝 由佳・三浦 誠一・小平 秀一(JAMSTEC)

8 緊急反射法探査で得られた東北地方太平洋沖地震震源域における地下構造の特徴

○中村 恭之・野 徹雄・藤江 剛・海宝 由佳・佐藤 壮・山下 幹也・三浦 誠一・高橋 成実・小平 秀一・金田 義行(JAMSTEC)

9 小型海底電位磁力計について

○笠谷 貴史(JAMSTEC)

10 東北地方太平洋沖地震震源域で実施された高精度地形調査

○笠谷 貴史・浅田 美穂・木下 正高・小平 秀一(IFREE/JAMSTEC)・山本 富士夫・新倉 淳也(JAMSTEC)

11 AUV「うらしま」による曳航システムの確立

○山本 富士夫・大美賀 忍・月岡 哲・笠谷 貴史(JAMSTEC)・佐柳 敬造(東海大学)・「うらしま」運航チーム(日本海洋事業)

12 北部沖縄トラフにおけるマルチチャンネル反射法地震探査

○堀内 大嗣・西澤 あずさ・金田 謙太郎(海洋情報部)・及川 光弘(国交省)

- 機器展示 海上保安庁海洋情報部 7階中会議室  
11月 1日(火) 10:00~18:00、11月 2日(水) 10:00~16:30

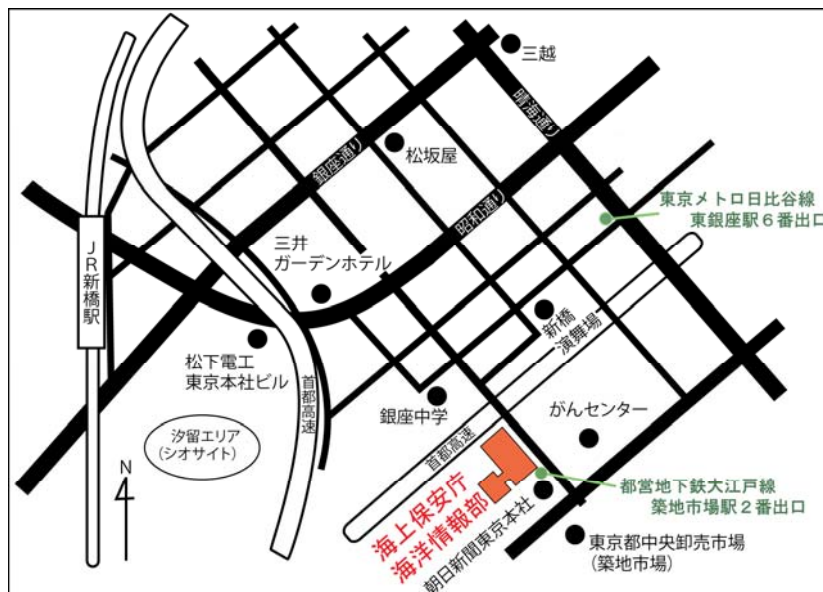
### 出展企業一覧 (50音順)

(株)海洋先端技術研究所	(株)キュー・アイ
JFEアドバンテック	(株)鶴見精機
(株)東陽テクニカ	日本海洋(株)
ビジオテックス(株)	マリメックス・ジャパン(株)
ワイエスアイ・ナノテック(株)	

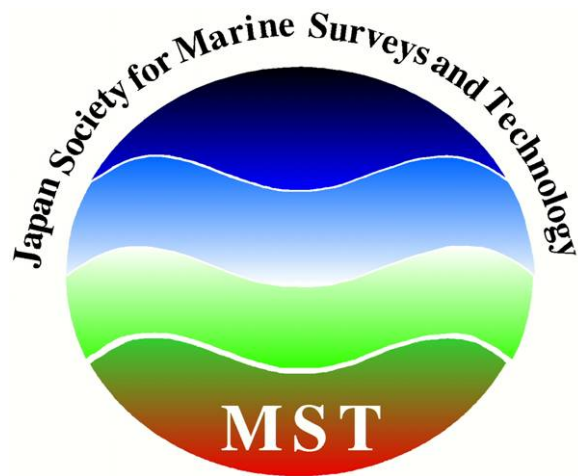
### ● 日程表

月日(曜日)	時刻	会場	行事
11月 1日(火)	10:00~11:45	7階大会議室	開会挨拶・研究発表
	11:45~12:15		測定機器展示案内
	12:15~13:15	7階ロビー	ポスター説明会
	12:15~13:00	7階702号室	評議員会
	13:00~13:45	7階大会議室	通常総会
	13:50~15:50		研究発表
	16:00~18:00		特別講演
18:20~19:45	レストランアラスカ	懇親会	
11月 2日(水)	10:00~12:30	7階大会議室	特別セッション
	13:30~16:25		研究発表
	16:25~16:30		閉会挨拶
11月 1日(火)	10:00~18:00	7階中会議室	機器展示、
11月 2日(水)	10:00~16:30	7階ロビー	ポスターセッション

### ● 会場へのアクセス



**地下鉄：**  
大江戸線築地市場駅  
 下車徒歩2分  
日比谷線 東銀座駅  
 下車徒歩7分  
**JR線：**  
山手線他 新橋駅  
 下車徒歩15分  
**都バス：**新橋駅より  
朝日新聞社又は  
中央卸売市場行きに乗  
車、朝日新聞社前下車  
すぐ



事務局：海洋調査技術学会企画委員会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16

海洋船舶ビル8階

CANPAN センターACNet 事務局内

Tel&Fax 03-3545-6255

URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsmt/>

E-mail : [ac185-jsmt@canpan.org](mailto:ac185-jsmt@canpan.org)